

横浜市訪問介護連絡協議会 令和4年度 第2回幹事会

場所	Zoom ミーティング (Web 会議)
日時	令和4年7月19日 (火) 18:30~19:35
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>横浜市健康福祉局高齢在宅支援課より情報共有</li> <li>各委員会からの報告 (各委員会) <ul style="list-style-type: none"> <li>広報委員会 (南区・西区・中区・鶴見区・港北区)</li> <li>多職種連携委員会 (旭区・泉区・瀬谷区・戸塚区・港南区・青葉区・都筑区)</li> <li>研修委員会 (神奈川区・保土ヶ谷区・金沢区・磯子区・栄区・緑区)</li> </ul> </li> <li>各区の総会状況について (各区幹事より)</li> <li>その他</li> <li>各委員会に分かれての打合せ</li> </ol>
出席者 (順不同敬称略)	<p>&lt;役員&gt; 正木・本間・細川・芳原・齊藤・北村・水梨・木俣・鈴木・笠原・花摘・鈴木・北村・田中 (欠席) 佐藤</p> <p>&lt;各区代表・幹事&gt; (事業所名略) 鶴見区: 田村 神奈川区: 木俣 瀬谷区: 永原 金沢区: 山内 栄区: 知花 都筑区: 嶋田・青柳 欠席区: 西区、中区、保土ヶ谷区、泉区、港北区、戸塚区、青葉区</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>横浜市健康福祉局高齢在宅支援課より <ul style="list-style-type: none"> <li>○「資格支援事業」</li> <li>状況: 受講者 142 名: 6 月状況</li> <li>PR: 「ホームヘルパー資格取るなら今がチャンス」</li> <li>Twitter (横浜市公式) 7 月 14 日 17 時 で発信済</li> <li>タウンニュース掲載予定 8 月 4 日 ※都筑区、泉区、中西区版</li> <li>訪問時の新型コロナウイルス感染症、豪雨災害等に留意し活動して欲しい。</li> </ul> </li> <li>○協議会からの質問 <ul style="list-style-type: none"> <li>Q: タウンニュースについて</li> <li>記事として掲載すると無料で掲載することができるが、資格取得支援事業について、知り合いの関係者に話してみるか。</li> <li>A: 機会があればお願いしたい。</li> <li>Q: 介護事業者向け無料 PCR 検査の実施について</li> <li>以前あった「無料 PCR 検査 (週一回、月一回実施) ※木下工務店、日本財団 etc」はあったが今は終了している。横浜市主導で同様のサービスは実施できないか</li> <li>A: 確認が必要。後日回答。</li> <li>Q: 抗原検査キットの追加配布予定はあるのか</li> <li>A: 陽性者発生した場合に報告するフォームに不足物資欄 (マスク、ガウン、グローブ等) に加えその他の欄に「抗原検査キット不足」と記入頂ければ (横浜市の在庫状況によって) 配布可能。現在、全事業所への抗原検査キットの追加の一括配布は予定していない。</li> </ul> </li> <li>各委員会からの報告 (各委員会)</li> </ol>

- ・広報委員会（南区・西区・中区・鶴見区・港北区）：花摘  
 ブログの更新 担当決め  
 今後のブログ担当区確認 保土ヶ谷区、青葉区、泉区、西区の代表幹事へ依頼  
 次回の担当区に直接メールにて依頼
- ・多職種連携委員会（旭区・泉区・瀬谷区・戸塚区・港南区・青葉区・都筑区）  
 ○「CM、Dr、Ns等から言われて困った事案」をアンケートにて配布回収し  
 事例集を作成していく
- ・研修委員会（神奈川区・保土ヶ谷区・金沢区・磯子区・栄区・緑区）  
 ○研修内容「元気な体に戻す介護の基本」 実技研修実施 講師：鈴木（南介護事務所）

3. 各区の総会状況について（各区幹事より）

4. その他

■NPO アスリードへの活動報告（細川）

未来ティーチャー：「中学生、高校生向け職業講話（訪問介護がどんなものなのか）」を今年度も活動予定

■「第29回日本介護福祉会全国大会・第20回日本介護学会 in かながわ」への出展

日時：10月19日(水)10時-18時 20日(木) 8時-16時

会場：大さん橋ホール&オンライン

展示物：災害に関する学び

■ICT化、特定事業所加算を検討されている事業者への情報提供を協議会でまとめ共有する  
 取組みはできないか（齊藤）

- ・ソフトやシステムを用いサ責の業務簡素化、職員との情報提供の手法
- ・特定事業所加算をとっている事業所での活用の仕方
- ・実地指導で指摘を受けない方法

ふじケア：ケアウイング+介舟 特定事業所加算はこれから取得予定（支援業者との連携をする）

みずたま：カナミック スタッフへの伝達 けあピュアノート

ここえ：カイボケ スタッフへの伝達 課題：特定事業所加算の条件の研修の持続性が難しい

アクセスケア：ケアウイング+介舟 課題：研修の継続 eLearningの事業者と連携予定

しあわせ介護：紙 請求ソフト（セントワークス Suisui）

特定事業所加算をとるのに各職員の個別研修計画の作成、実施管理が困難

愛を繋ぐ：カナミック 特定事業所加算習得予定（支援事業者と提携）

5. 各委員会に分かれての打合せ

配布先	上記出席者および欠席者
-----	-------------